

浜松市立可美小学校

令和7年度後期 子供・保護者・教員による学校評価

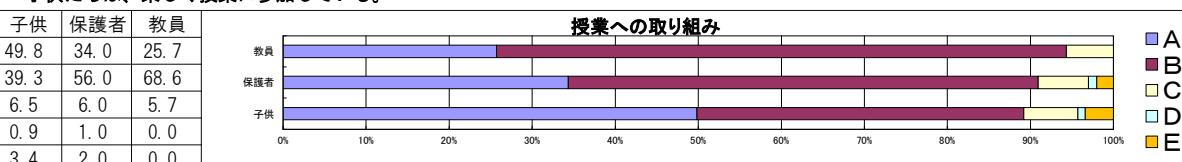
学校評価アンケートに御協力いただき、ありがとうございました。集計結果を報告します。本アンケートの結果や考察、また、自由記述にご記入いただいた意見などを参考にして、来年度の教育活動を検討していきます。

例 A：そう思う B：だいたいそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない E：わからない

718.0 710 38

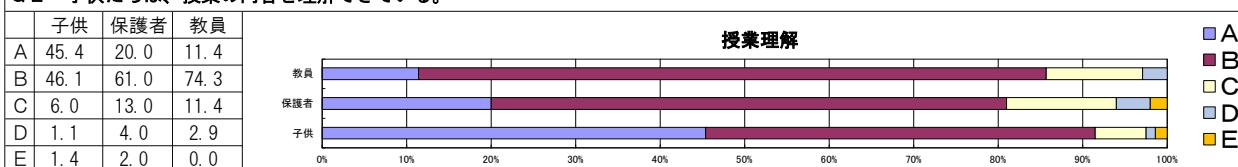
グラフは左からA B C D Eで表されています 単位：%

Q1 子供たちは、楽しく授業に参加している。



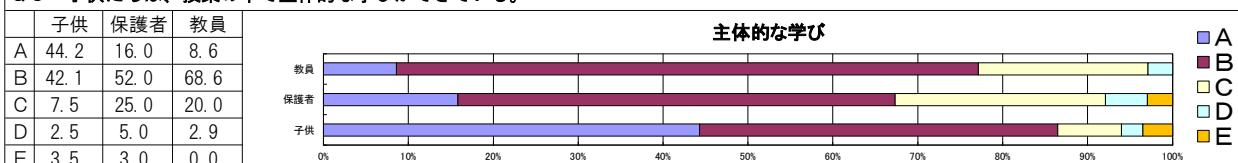
子供・教員・保護者の90%が楽しく参加していると答えています。特に子供は、そう思う(A)と答えた割合が約50%です。一方、あまりそう思わないと7%が答えています。子供たちが楽しく学べるよう、来年度も楽しい授業づくりについて研修を深めていきたいと思います。

Q2 子供たちは、授業の内容を理解できている。



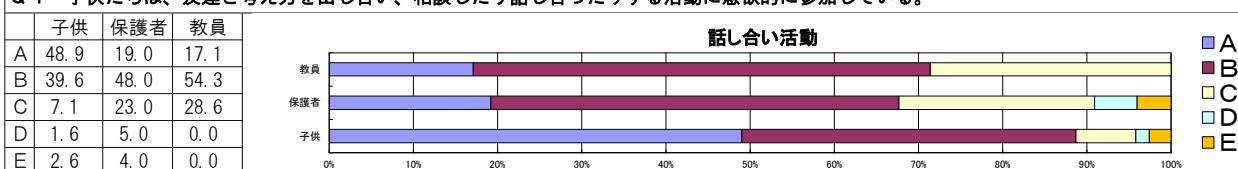
子供の91.5%(A+B)が理解できていると答えています。保護者、教員も80%(A+B)以上が理解できていると答えています。しかし、教員はおおむね理解していると感じているものの(B74%)、そう思う(A)が11.4%と低いのは、理解していないと7.1%(C+D)の子供が感じているからかもしれません。どの子も理解できるよう、どのように寄り添い支援していくか、来年度も研修をしていきたいと思います。

Q3 子供たちは、授業の中で主体的な学びができる。



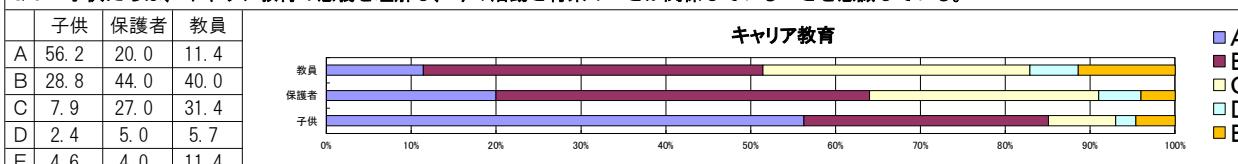
子供の自己評価が高い一方、保護者と教員の評価が低い傾向が見られました。参観の機会が少ない中で難しい質問だったと思われます。教員は、授業の中で主体的な学びの行動目標を明確にし、授業の中で子供の姿を見取り、子供の主体的な学びが評価できるようにしていきたいと考えます。

Q4 子供たちは、友達と考え方を出し合い、相談したり話し合ったりする活動に意欲的に参加している。



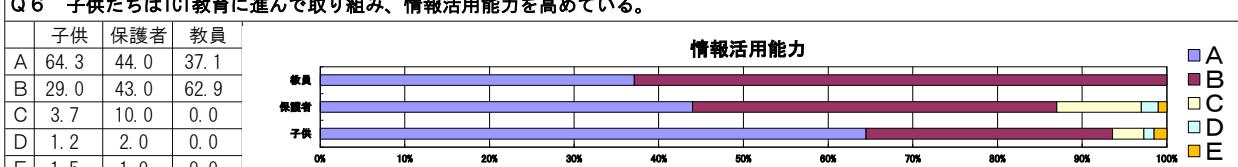
Q3同様、保護者には答えずらい質問だったと思います。子供たちの90%近くは、「進んで友達と考え方を出し合い、相談したり話し合ったりしている。」と答えています。教員が目指す、話し合いの質の向上=「考えが広まる深まる」話し合い活動に向けて今後も研修を進めていきたいと思います。

Q5 子供たちは、キャリア教育の意義を理解し、今の活動と将来のことが関係していることを意識している。



子供は85%が今の活動と将来との結びつきについて強く意識し行動しています。キャリア教育の具体的な目標や将来と活動とのつながりを教員間で共有し、子供たちがより明確に意識できるようにしていきます。

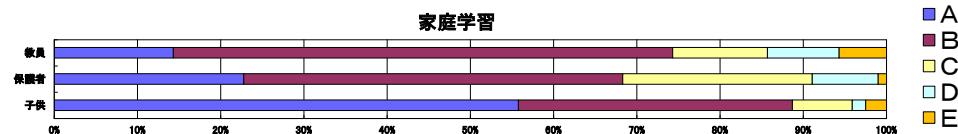
Q6 子供たちはICT教育に進んで取り組み、情報活用能力を高めている。



子供の「できている」(A+B)と答えた割合が90%を超えており、教員も100%ができると感じています。一方、保護者は10%以上ができるいないと答えています。子供たちが意欲的に取り組んでいる姿を参観してもらう機会をつくっていきます。また、外部講師をお呼びしたり、朝活動で行なっている情報モラル教育も継続的に行っていきます。

Q7 子供たちは、家庭学習の習慣が身に付いている。

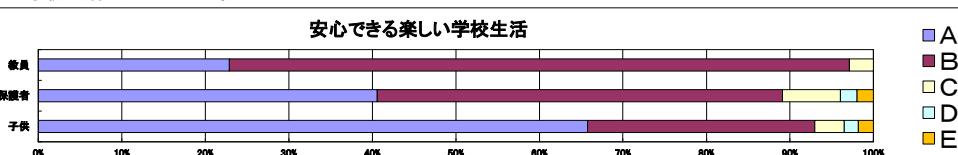
	子供	保護者	教員
A	55.7	23.0	14.3
B	32.9	46.0	60.0
C	7.2	23.0	11.4
D	1.6	8.0	8.6
E	2.5	1.0	5.7



子供の90%近くが「家庭学習が身に付いている」と回答しています。しかし保護者、教員は、70~75%程度で差があります。子供と保護者・教員の間に、家庭学習の捉え方への意識の差が見られます。基礎学力の定着に家庭学習は必要です。家庭学習を習慣化させるために、子供たちに日々声を掛けながら内容等についても検討していきます。

Q8 子供たちは、安心して楽しく学校生活を送っている。

	子供	保護者	教員
A	65.7	41.0	22.9
B	27.2	49.0	74.3
C	3.5	7.0	2.9
D	1.7	2.0	0.0
E	1.8	2.0	0.0



3者ともに90%超えて「安心して楽しく学校生活を送っている」と回答しました。特に子供は、そう思う（A）と65%が強い肯定感をもって答えています。しかし「そうではない」と回答している子供もいます。「楽しくない」「安心できない」と答えた子供たちの気持ちに寄り添い、どの子も安心できる学校づくりを行っていきます。

Q9 子供たちは、違う考え方の友達とも尊重し合い、仲良く生活している。

	子供	保護者	教員
A	62.3	29.0	14.3
B	30.5	55.0	74.3
C	3.0	9.0	8.6
D	1.5	2.0	2.9
E	2.7	6.0	0.0



子供・教員の90%が「いろいろな友達と仲良く生活できている。」と回答しました。保護者は84%で2者に比べてやや低かったです。多様性を尊重する具体的な行動や、意見の対立を乗り越えて人間関係がつくれるような指導を、いろいろな機会にしていきたいと思います。

Q10 子供たちは、係や委員会の仕事を一生懸命頑張っている。

	子供	保護者	教員
A	67.9	40.0	34.3
B	24.8	48.0	54.3
C	4.6	5.0	5.7
D	1.6	1.0	5.7
E	1.0	6.0	0.0



3者とも90%近くが「係や委員会の仕事を頑張っている」と答えました。「頑張っていない」と感じている子供たちにも達成感を感じられるような活躍の場を設定したり、活動内容を明確にしたりして、できていないと答えた6%の児童にも、仕事に対する達成感を味わわせたいと思います。

Q11 子供たちは、明るい挨拶や正しい言葉遣いをしている。

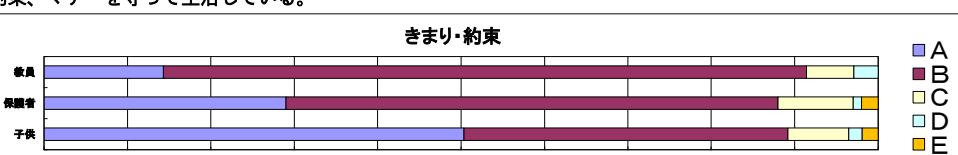
	子供	保護者	教員
A	38.8	19.0	5.7
B	46.9	54.0	68.6
C	9.2	22.0	20.0
D	2.5	2.0	5.7
E	2.5	3.0	0.0



挨拶や言葉遣いについては、学校運営協議会でも手立てについて話し合ってもらいました。挨拶を意識して関わってきましたが、数値的には大きな変化は見られませんでした。挨拶や言葉遣いは、基本的な生活習慣です。自分から挨拶ができる子供、正しい言葉遣いができる子供が育つように大人も子供も意識しながら生活できるように継続的な指導が大切です。

Q12 子供たちは、きまりや約束、マナーを守って生活している。

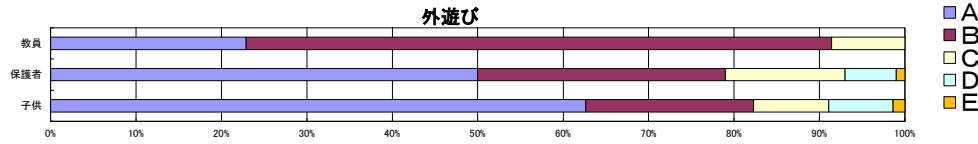
	子供	保護者	教員
A	50.3	29.0	14.3
B	38.8	59.0	77.1
C	7.3	9.0	5.7
D	1.6	1.0	2.9
E	1.9	2.0	0.0



3者とも90%近くが守っていると回答しています。しかし、守っていない子供も一定数います。その子たちへの個別の指導に加え、引き続き、マナーや決まり遵守の重要性を認識させる指導を行っていきます。

Q13 子供たちは、体を動かしたり、外で遊んだりすることが好きである。

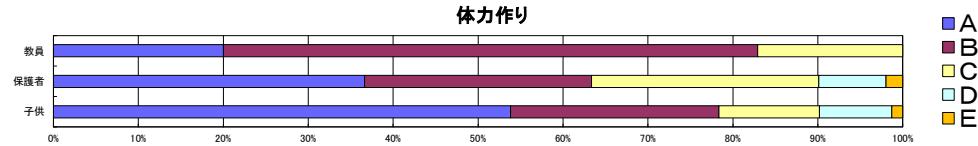
	子供	保護者	教員
A	62.6	50.0	22.9
B	19.6	29.0	68.6
C	8.8	14.0	8.6
D	7.5	6.0	0.0
E	1.4	1.0	0.0



子供によって運動の好き嫌いに差があり「体を動かしたり外で遊んだりするのが好きではない」の回答が高い項目です。特に児童の「好きではない」と答えた割合が高く、前期評価と数値の変化はありませんでした。今後も継続的に外遊びの楽しさやよさを感じられるような活動や場を設定していきたいと思います。

Q14 子供たちは、進んで外遊びや体力作りをしている。

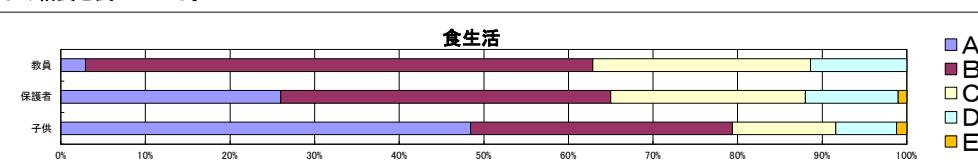
	子供	保護者	教員
A	53.7	37.0	20.0
B	24.5	27.0	62.9
C	11.8	27.0	17.1
D	8.5	8.0	0.0
E	1.3	2.0	0.0



Q13に続いて、「進んで外遊びや体力作りをしていない」の回答が高い項目です。特に、高学年でしていないと答えた割合が高い傾向が見られ、学校運営協議会でも手立てを話し合いましたが、数値的には変化はありませんでした。保護者の、していない(C+D)と答えた割合も高いです。子供たちの体力が低下していると言われている昨今、引き続き、外遊びや体力作りをどう推奨していくのか、検討していきます。

Q15 子供たちは、好き嫌いなく給食を食べている。

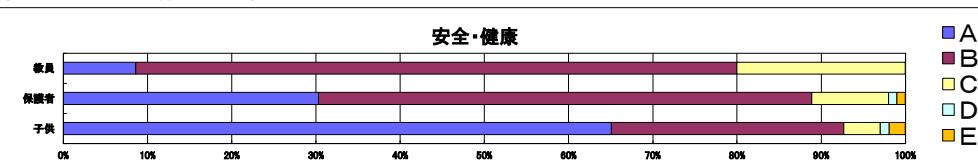
	子供	保護者	教員
A	48.4	26.0	2.9
B	30.9	39.0	60.0
C	12.2	23.0	25.7
D	7.2	11.0	11.4
E	1.2	1.0	0.0



「食育」の大切さをどのように指導していくのか考えさせられます。苦手な食べ物がある子供たちへの食育をどう進めていくか、教員も保護者の方も苦慮している結果が表れました。家庭とも協力、連携して考えていきたいと思います。

Q16 子供たちは、安全や健康に気を付けて生活している。

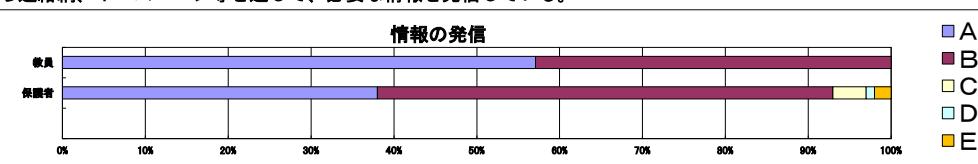
	子供	保護者	教員
A	65.0	30.0	8.6
B	27.6	58.0	71.4
C	4.3	9.0	20.0
D	1.1	1.0	0.0
E	1.9	1.0	0.0



安全や健康に気を付けて生活していないと答えた割合が、子供→保護者→教員の順で低くなっています。保護者、教員は子供たちの安全への配慮が十分ではないと感じています。安全教育、健康教育の中で指導した内容が日常生活での行動につながるような実践的な指導を行っていきます。

Q17 学校は、たよりやさくら連絡網、ホームページ等を通して、必要な情報を発信している。

	保護者	教員
A	38.0	57.1
B	55.0	42.9
C	4.0	0.0
D	1.0	0.0
E	2.0	0.0



学校では、定期的に学校だより・学年だより・保健だより・給食だより等を発行し、子供たちや保護者の皆様に情報発信しています。また、必要に応じてさくら連絡網でお伝えしています。さらに、保護者の方にとって必要な情報が伝わるようにしていきたいと考えています。